

令和7年度 応神小学校 学校経営グランドデザイン

学 校 教 育 目 標

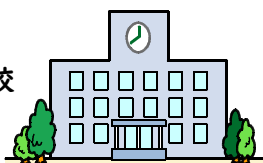
人権尊重の精神を基盤とした、自主的に創造力に富んだ、心豊かでたくましく生きる子どもを育てる
～主体的・対話的に深く学び、自律的に行動できる児童の育成～

徳島教育大綱（第4期）の基本方針
個性と国際性に富み、夢と志あふれる「人財」
の育成

徳島市教育振興基本計画（第3期）基本目標
かがやきの人づくり
～文化を育み、未来へ飛翔する人づくり～

めざす学校像

温かな学校
活力あふれる学校
信頼される学校



めざす子ども像

明るくたくましい
子ども



助け合い励まし合う
子ども



めざす教職員像

使命感をもち信頼される教職員
同僚性・協働性のある教職員
子どもとともに伸びる教職員



人権教育の推進

- 重点目標の設定（普遍と個別の課題）
- 年間指導計画の作成と見直し（教科、道徳、特別活動との関連）
- 応神学園・家庭・地域が一体となった人権教育の理解と啓発の推進（研修会等の充実）

特別支援教育の推進

- 重点目標の設定（個の実態把握と共通理解）
- 個別の支援計画と指導計画の作成と見直し
- 保護者や関係機関との連携
- 特別支援学級への正しい理解と啓発の推進

よく学び伸びていく
子ども



家庭・地域・関係機関との連携

応神学園学校運営協議会
（コミュニティースクール）

- 双方向の情報・意見交換の推進
- 地域の人材・行事・施設等の教育的活用
- 学校評価結果の公表・改善と説明責任
- 応神学園としての教育的機能の充実
- メール配信・学校HP等の充実
- 危機管理とその対応についての連携
- ポストコロナを踏まえた学校行事やPTA活動の再検討と実践



学校経営方針

- 人権教育と特別支援教育を基盤に据えた心の教育の推進
- 社会性の醸成につながる生活規律の徹底と共有
- 教職員のチームとしての協働と専門性の向上
- 学校環境の充実と応神学園・保護者・地域との連携

- 全ての子どもたちの可能性を引き出す令和の日本型学校教育の構築
- 学力向上につながる学習規律の徹底と共有
- よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の推進
- タブレット端末を活用したGIGAスクール構想の実現

具体的重点目標

確かな学力の育成

- ①分かる授業のための授業改善と学習意欲の向上
 - ・学習ルールの確立
 - ・授業のUD化
 - ・タブレットの有効活用
- ②基礎学力の向上
 - ・スモールステップ
 - ・繰り返し学習や補充学習
- ③言語能力の育成
 - ・各教科等の言語活動の充実
 - ・読書活動の充実
- ④家庭学習習慣の育成
 - ・家庭学習の手引の活用

基本的生活習慣の育成

- ①あいさつの徹底
 - ・定期的なあいさつ運動
- ②正しい言葉遣いの向上
 - ・日常の生活指導の充実
 - ・ふわりと言葉の推進
- ③規範意識の向上
 - ・生活規律の徹底
 - ・積極的な生徒指導の推進
- ④安全教育の充実
 - ・防災、減災行動の育成
 - ・交通安全指導の徹底

健やかな体の育成

- ①規則正しい生活を送ろうとする態度の育成
 - ・生活リズムの改善
- ②魅力的な体育授業づくりの推進
 - ・運動の楽しさの体感
 - ・運動の日常化
 - ・外遊びの奨励
- ③食育の推進
 - ・給食指導の充実
 - ・朝食摂取の指導と啓発
- ④メディアの適切な利用
 - ・児童自身による主体的なメディア利用の改善

豊かな心の育成

- ①望ましい集団活動の充実・話し合い活動の活性化
 - ・異年齢交流活動の充実
- ②自尊感情の向上
 - ・成功感や達成感がもてる体験活動の充実
 - ・ポジティブな行動支援の実践
- ③いじめの未然防止、早期発見及び早期解決
 - ・発達支持的生徒指導の実践
 - ・組織的・継続的な取組
- ④将来に向けたビジョンづくりの推進
 - ・キャリア教育の充実

本校の教育課題

令和6年度 学校教育に関するアンケート集計結果から

★確かな学力の育成

わかる授業について、高い評価となった。さらに、「自ら意欲的に学習すること」を伸ばすようにする。また、考える力・判断する力・伝え合う力などを育てるツールとしてタブレットの活用を推進する。

★基本的生活習慣の育成

元気な挨拶やきまりを守るは高い評価となった。さらに、丁寧な言葉遣いのよさを実感できる指導を行う。

★健やかな体の育成

体育の授業や異学年集団の活動を通して意欲的に体力作りに取り組むことができた。生活習慣の中では、「早寝・早起き」に課題が見られた。学校と家庭が連携を取りながら改善に努めていく。

★豊かな心の育成

優しく思いやりのある態度は高い評価となった。一方で、「自分のよいところを言える」は、昨年よりもさらに低い評価となった。子どもたちの自尊感情を高める取組を推し進める必要がある。

★家庭や地域との連携

「教師が、保護者からの連絡や相談に適切に応じている」が、非常に高い評価となった。今後も、家庭や地域との連携を継続していく。また、教育活動の理解を深めるためHP等で情報発信に努めていく。

